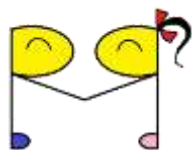


福祉相談室通信

第5号

みんな to る・る・る



つながる) ・ ささえる) ・ みつける)



もくじ

つながる!!

・ベンチについて考えてみました … P1



ささえる

・特集!!
おとなと子どもの寄りどころ増えてます!!

… P2~P3

みつける

・『ちがさき散歩』使ってみた?

… P4

編集後記

・福祉相談室をご活用ください!!

… P4



つながる!!



ベンチについて考えてみました



みなさんは、まちのベンチについて考えた事がありますか？ まちのあちこちにあるベンチはどんな役割をしているのでしょうか？ 休憩場所？ 恋人たちの憩いの場？ 日向ぼっこするところ？ みなさんの中に様々な考えが思いめぐらされたかと思えます。

当たり前すぎてあまり着目していませんでしたが、ふと観察してみると様々な**コミュニティ**がそこにある事に気づきます。一緒に考えてみましょう。

もしベンチが無くなったら…。

そこにあるコミュニティも無くなり、外出していた方々もきっかけがなくなる。結果、出かけなくなる。家の中に閉じこもりがちになる。転倒しがちになる。街が寂しくなる。など負の連鎖が始まるのではないかと考えるのは私だけでしょか…。

おとなも子どもも忙しい??

昨今、中学生や高校生などは塾や部活動、習い事など。おとなもスポーツジムや体操教室、サロン活動に、習い事や趣味の活動など。日々忙しくしている方が増えたように感じます。

しかし、地域の中には、おとなや子どもを問わず、どこにも所属しないで、ちからを持て余している方も多くいる様な気もします。おとなでも子どもでも気軽に立ち寄ることができるのが、減ってきているのでしょうか…。 みなさんの近所ではいかがですか？

このベンチについて考えたことをもとに、『みんな to る・る・る』では、おとなも子どもも関係なく、気軽に立ち寄ることのできることを『寄りどころ』と命名いたしました。

そして、この『寄りどころ』で生まれている新たなコミュニティなどに着目し、今年度は毎号紹介していこうと考えています。

みなさんの中で、いつも自分が好んで寄るところはありますか？



特集!!

ささえる

おとなと子どもの寄りどころ 増えています!!

茅ヶ崎市では、みんなで支え合い、安心して暮らせるまちを目指して、『誰もが地域に出やすい環境をつくること』に取り組んでいます。今回はそのひとつとして、おとなと子どもが食を通じて気軽に集える『寄りどころ』について独自にピックアップしてご紹介します。



① みんなで食べてわいわい楽しい♪ 『みんなの居場所』

鶴が台には、地域のまちおこしとして、中学生と一緒に考えた居場所があります。「鶴が台名店街を盛り上げたい」と地域の方が話し合い、名店街のカフェグランマが場所を提供し、昨年11月から「みんなの居場所」は始まりました。始める前には、どのようにすれば来てもらえるのか中学生に意見を聴きました。徐々に来訪者も増え、今では毎回中学生が来るようになりました。食べた後ゆっくりできる場所として、



運営団体：鶴が台名店街に地域の居場所を作る会
開催場所：鶴が台10-2-101 カフェグランマ
開催日時：毎月第3金曜日17:00~19:00
参加費：大人300円、中学生200円、子ども100円
連絡先：090-3811-9614 担当：佐川氏

団地の集会場が開放されています。そこでは、かるたやオセロなどがあり、遊んでもよし、おしゃべりしてもよしの自由な空間です。みんなの居場所は、中学生と一緒に作りあげてきた居場所です。

② 沖縄料理のお店で毎週開催している集いの場 『ゆいまーる食堂』みんなをーれ!



大きく子ども食堂の看板が貼られたお店のドアを開けると、店内は沖縄の音楽が流れる、ゆったりとした雰囲気です。以前からボランティア活動をされていた代表の古和田さんが、地域の方に食事提供のボランティアができないか市民活動サポートセンターに相談したのがきっかけで、「ゆいまーる食堂」は生まれました。

他の子ども食堂とつながることで食材などの共有や情報交換ができるので、そういう機会を持っていきたい。また、気楽に沖縄料理を食べてみたい興味のある方ならどなたでも来てもらい、地域の人と協力していきたい。と語る古和田さん。ゆいまーる食堂は、毎週沖縄気分ですっきり過ごせる居場所です。

運営団体：神奈川ゆいまーる
開催場所：萩園1270-33 ちゅら島家
開催日時：毎週水曜日17:00~19:00
参加費：1食300円
連絡先：080-9553-7878 担当：古和田氏



③ そばにいる。暖かい眼差し! 『萩園いこいの里』

運営団体：萩園いこいの里ロビー実行委員会
開催場所：茅ヶ崎市萩園 1215-4
萩園ケアセンター1階 萩園いこいの里
開催日時：萩園ケアセンター会館日時に準じます。
連絡先：0467-88-7513

☆イベントの詳細は、直接ご確認ください。



みなさん「萩園いこいの里」をご存知ですか？1階はロビー、2階は萩園ケアセンター、3階は高齢者の貸室になっています。1階ロビーは、子どもが勉強をしていたり、絵本を読んでいたりと、



ご高齢の方がお友達同士で会話を楽しんでいます。また、イベントの開催もあり、9年前から通ってくる子どもたちと一緒に食事を作って食べる「みんなで食べよう会」を2ヶ月に1回開催していたり、コンサートや絵本の読み聞かせ等のイベントも開催しています。地域の子どもたちが歩いて来ることができ、安心して過ごせる場所となっており、子どもたちが来たいときにいつ来ても、自分のペースで過ごせる雰囲気がありました。

④ 陽だまりのように あたたかい場所♪『おむすび松林』

親戚の自宅を訪問するかのように入会から「こんにちは」と声をかけ、中に入ると縁側のある畳の大広間が・・・そこには、穏やかな風景が広がっていました。出入りも自由なら、過ごし方も自由！この居場所は、松林地区まちぢから協議会の「地域の課題に地域の力で取り組む」という思いから生まれました。子育て世代や課題を抱えている子どもが気軽に集える、誰もが安心して行ける居場所にしたい。そのあたたかな気持ちが伝わってくる居場所です。





希望者のおも屋を提供
(おむすび2個と味噌汁)
(200円)



活動協力者募集中！！

『ふくろう塾』

松林地区まちぢから協議会こども部会・松林中学校・松林公民館が連携して、子どもたちの学習支援兼子ども食堂が、今年の夏休みに開始しました。子どもたちが、家族や学校以外のおとなと出会い、さまざまな生き方や考え方を学ぶことで、「生きる力」を育んでほしい。子どもが安心できる、様々な人と出会える居場所です。

運営団体：松林地区まちぢから協議会 こども部会 ☆徒歩もしくは自転車でお願いします☆
 開催場所：【おむすび松林】茅ヶ崎市高田1-10-50 (すみれ幼稚園そば) 
 【ふくろう塾】松林公民館 
 開催日時：【おむすび松林】毎月第2・4月曜日11:00～16:00
 【ふくろう塾】不定期18:00～20:30 (18時～19時は食事の時間です)
 連絡先：090-9395-8372 (中山氏) 090-1534-3212 (小池氏)

⑤ 親と子どものε-(´▽`*)ホッとスポット♪ ほんそん子ども食堂 『いただきます』


子どもの笑い声と、おしゃべりに花を咲かせるママさん、美味しいご飯を手作りしてくれる地域のボランティアさん、子どもたちと一緒に遊んでくれるパパさんや大学の学生さん。ここでは、沢山の人が集まり、いつも明るい声が絶えません。提供される食事の材料は、「こども食堂ネットワーク」や



広々プレイスペース

Facebookで活動を知った方からのご寄付。その時々で、頂いたものから食事のメニューを決めているそうです。食を通して、ホッと落ち着ける場所をつくりたい。そして子どものことを通じて居場所に関心を持ってくれる人が増えるといい。そんな想いが溢れている、温かい居場所です。



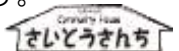
運営団体：地域のお茶の間研究所さろんどて
 開催場所：日本ホーリネス教団 茅ヶ崎教会
 茅ヶ崎市本村1-2-14 

開催日時：毎月第1・3木曜日17:00～19:00
 参加費：300円

(子どもまたは、子どもと一緒にのおとなが対象です)
 連絡先：080-5536-8096 (早川氏)
 Facebook「地域のお茶の間研究所さろんどて」で検索

『さいとうさんち』

「さろんどて」では、「さいとうさんち」という誰でも立ち寄れる居場所や、これからママになる方や0歳児とママの交流できる場所を提供する取り組みを行っています。詳細はFacebookに掲載されています。是非ご覧ください。



『こども食堂ネットワーク』 ところどころがつながる♪

いま「こども食堂」という取り組みが、全国に広がっています。こども食堂と一言で言っても全国で実施されている形態は様々です。名前だけを聞くと、「こどものための食堂?」と思われがちですが、それだけではなく、「こども一人でも安心して来られる食堂」という意味が込められているそうです。

この、全国に広がっている『こども食堂を繋ぐネットワーク』があります。『こども食堂ネットワーク』は、地域でこども食堂を運営している人たちが交流をし、こども食堂の輪を広げるための連絡会です。ご興味のある方は、是非ホームページ↓↓を検索してみてください。



こども食堂ネットワークホームページアドレス
<http://kodomoshokudou-network.com/>



みつける



『ちがさき散歩』 使ってみました？

ちがさき
散歩

平成28年2月2日から配信されている、茅ヶ崎の**無料観光アプリ**があるのをご存知でしょうか。茅ヶ崎を散策したいけど、どこに行けばいいのかわからない。いつもお散歩に行くけど、同じ場所ばかりで飽きてしまった。そんな人におススメです！

アプリでは、見どころ満載の散策モデルコースをご紹介。携帯のGPS機能を利用することで、コースと自分の位置を正確に把握でき、迷子になることもありません。

また、市内のお店や施設を簡単検索する機能も！自分が居る場所の近くのお店を地図上に表示したり、「観る」「遊ぶ」「食べる」など、カテゴリー別に魅力的なスポットを検索可能。旅の軌跡として、滞在した場所やその時の写真などを、思い出として残すことができます。

みなさんも是非、アプリを片手にお出かけになって、ご自身だけのお気に入りの『寄りどころ』を、発見してみたいはいかがでしょうか。詳しくは茅ヶ崎市役所 産業振興課 観光担当 または、一般社団法人 茅ヶ崎市観光協会 へご確認ください。



福祉相談室をご活用ください！



～福祉相談室の特徴～

誰でも
相談
できる

何でも
相談
できる

相談
内容に
適した
機関を
紹介

守秘義務
を持つ
専門職が
対応

相談は
いつでも
無料

名称	地区	電話番号
ゆず	茅ヶ崎	58-8166
あい	茅ヶ崎南	84-9446
	海岸	
れんげ	南湖	88-1377
さくら	鶴嶺東	81-4083
みどり	鶴嶺西	58-5385
すみれ	湘南	58-7051

名称	地区	電話番号
くるみ	松林	51-3200
あかね	湘北	51-0015
青空	小和田	51-1171
さざなみ	松浪	39-5935
あさひ	浜須賀	58-6903
わかば	小出	53-8844

※福祉相談室の詳細情報は、市のホームページでご覧いただけます。

編集後記

この福祉相談室通信も早いもので第5号の発行となりました。今回は、子ども食堂を中心とした『寄りどころ』を特集しました。企画の段階で市内にどのくらいあるのか調べたところ、意外にも複数ヶ所あることが分かり、地域にはまだまだ知らないことがあると実感しました。また、スタッフの方々からとても強いパワーを感じました。取材にご協力いただいた皆様、本当にありがとうございました。これまでの取材を通して、多くの場所や人に出会い、さまざまな思いを聴く事ができました。活動は違っても同じ思いを持っていること、新たな視点に気づかせてもらうこともありました。この通信を通して、地域や福祉に興味・理解を持ってくださる方、活動を始めようと思ってくださる方、そして、福祉相談室を知ってくださる方が少しずつ増えてくれたら嬉しいと思います。今年度もどうぞ宜しくお願いいたします。

市のホームページでは、『みんなtoる・る・る』カラー版もダウンロードできますので、ぜひご覧ください。

発行者：茅ヶ崎市福祉政策課 福祉政策担当
企画・編集：福祉相談室 広報周知活動班